

ほ場やハウスの土壌が流出した場合は、どのように対処すればよいですか

《概要》

1 水 田

- ・ほ場の一部が崩壊した場合は、畔シート等を使用し応急的対応で、保水できる状態にしましょう。

2 野菜・花き畑

- ・作土の流出による根の露出や降雨により土が硬く締まったほ場では、株元がぐらつかないように中耕や土寄せ、場合によっては客土によって根の露出を防ぎましょう。

3 果樹園

- ・表土が流出した園地では、客土を行い、根群を保護しましょう。客土する土壌は1～2割程度の堆肥や土壌改良資材を混和しましょう。
- ・崩壊した石垣や法面は、崩壊が進行して二次被害が発生しないように土のうを積んで補強することが必要です。

4 共 通

- ・ほ場の現状回復は、状況によっては重機による工事等が必要な場合があるので、無理な作業は行わず、関係機関に相談した上で対応しましょう。

《問い合わせ先》

担当部署	電話番号
農林水産総合センター 普及推進課	086-955-0274
備前県民局 備前広域農業普及指導センター	086-233-9845
東備農業普及指導センター	0869-92-5176
備中県民局 備南広域農業普及指導センター	086-434-7047
井笠農業普及指導センター	0865-69-1652
備北広域農業普及指導センター	0866-21-2850
新見農業普及指導センター	0867-72-9177
美作県民局 美作広域農業普及指導センター	0868-23-1496
真庭農業普及指導センター	0867-44-7582
勝英農業普及指導センター	0868-73-4067